

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【公表番号】特表2008-534966(P2008-534966A)

【公表日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-034

【出願番号】特願2008-504205(P2008-504205)

【国際特許分類】

G 0 1 N 21/64 (2006.01)

G 0 1 N 21/78 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/64 F

G 0 1 N 21/78 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

それが各サンプルと複数の蛍光染料とを保持するプロセスチャンバを複数有するディスクを回転させるためのモータと、

それが前記染料の異なる1つに対して選択された光源と、前記ディスクから放出された蛍光を捕捉するためのレンズとを含む複数の光学モジュールと、

検出器と、

前記複数の光学モジュールから前記検出器へ前記蛍光を伝達するように、前記複数の光学モジュールに結合された光ファイバ束と、を備える検出装置。

【請求項2】

データ取得装置、および、該データ取得装置に結合された検出装置を備える検出システムであつて、

前記検出装置は、

それが異なる波長で蛍光を放出する複数の種を有するプロセスチャンバを複数有するディスクを回転させるためのモータと、

それが前記種を励起しかつ異なる波長で前記種によって放出された蛍光を捕捉するように、光学的に構成された複数の光学モジュールと、

検出器と、

前記複数の光学モジュールから前記検出器へ前記蛍光を伝達するために、前記複数の光学モジュールに結合された光ファイバ束と、を備える検出システム。

【請求項3】

それが異なる波長で蛍光を放出する複数の種を有するプロセスチャンバを複数有するディスクを回転させるステップと、

複数の放出蛍光光線を生成するように、複数の光線で前記ディスクを励起するステップと、

複数の異なる光学モジュールで前記蛍光光線を捕捉するステップであつて、前記光学モジュールは、前記異なる波長に対して光学的に構成されるステップと、

前記蛍光光線を前記複数の光学モジュールから単一の検出器へ光ファイバ束で伝達する

ステップと、

検出した前記光線を表す信号を前記検出器から出力するステップと、を含む方法。